



自動車を含むモビリティ産業に関する最新状況と重要課題の抽出

# CASE と MaaS を実現するデジタル技術の本質と 欧米中の現状を踏まえた対応策

～アナログ対デジタル ICT IoT クラウド ディープラーニング 産業構造 国際競争力～

講師



インテル株式会社 事業開発・政策推進ダイレクター  
(兼) チーフ・アドバンストサービス・アーキテクト  
名古屋大学 未来社会創造機構 客員准教授

のべ つぐお  
**野辺 継男**

(敬称略)

開催日時 ▶ 2020年 4月23日(木)

午前9時30分～午前11時30分 (開場：午前9時)

会場 ▶ JPIカンファレンススクエア

東京都港区南麻布 5-2-32 興和広尾ビル ☎ 03-5793-9761

✦東京メトロ日比谷線「広尾駅」3番出口 徒歩3分✦

① 中目黒方面行きにご乗車の場合は最後尾、北千住方面行きにご乗車の場合は最前車輦。  
② 3番出口を出て右手に250歩程進み、最初の信号「広尾学園前」先の赤レンガビル。  
③ 1階に輸入車のショールームがあり、ビルの中央に入口。

民間参加費 ▶ 1名 33,190円 (資料代・消費税込)

2人目以降 28,190円 (社内または関連会社で同時お申込みの場合)

行政参加費 ▶ 国家公務員・地方自治体職員の方は、1名 16,500円 (資料代・消費税込)

講義概要・項目

現在、自動車産業は「百年に一度」の大変革の直中にある。そのキーワードはCASEとMaaSであり、その競争のあり方は基本的にデジタルで構築されICTの世界に近い。今後も日本の自動車産業が最先端であり続ける為には、早急に競争原理の異なるアナログ思考からデジタル思考に切り替える必要がある。今回は、CASEとMaaSを実現するデジタル技術の本質と、欧米中の現状を解説しながら、競争原理の変化とその対応に関してお話をさせて頂く。

1. 自動車を含むモビリティ産業に関する最新状況と重要課題の抽出
2. CASEの重要性
  - (1) Connected: 次に続くA、S、Eの前提
  - (2) Automated: 自動運転の作り方と開発と事業の2極化
  - (3) Sharing Services: 国際的な必然性
  - (4) Electrification: なぜ今電動化が必須なのか
3. MaaSの本質
4. CASE、MaaSを実現し進化させるICTの発達原則
  - (1) アナログ対デジタル
  - (2) IoT、Cloud、スマホ、Big Data、Deep Learning
  - (3) デジタル産業の競争原理 (ハードウェア編、文明)
  - (4) デジタル産業の競争原理 (ソフトウェア編、文化)
5. 産業構造の変化と今後の予測と考え方
6. 関連質疑応答
7. 名刺交換会 講師及び参加者間での名刺交換会を実施いたします。

【講師略歴】

1983年 早稲田大学理工学部応用物理学科卒。

1990年 ハーバードビジネススクール MBA Alumni、ハーバード大学院 PIRP Fellow。

1983年 NEC入社。欧米市場でのNEC AT互換機事業の立ち上げ、国内市場でのPC98からAT互換機への切り替え。並行してアナログ放送波・デジタル衛星放送向けEPG開発、ブロードバンドVOD(ストリーミングビデオ)開発、PDA開発。

2001年 ソフトバンク子会社としてオンラインゲーム会社を設立しCEOに就任。

2004年 日産自動車入社。Vehicle IoTの開発・事業立ち上げ・統括、Vehicle IoT事業本部及びシリコンバレーオフィスを設立。

2012年 インテルに転職し自動運転及びモビリティサービスの事業開発と政策推進を担当。

2014年 名古屋大学未来創造機構客員准教授を兼務し自動運転の技術開発。

2011年にGSMA 2011で”Award for the Best Mobile Innovation for Automotive and Transport”受賞。

IEEEやクルマとITに関連する国内外の主要会議で頻繁に講演。各種政府委員会メンバー歴任。日経BP等で多数執筆。

<所属協会・団体・学会等>

情報処理学会、人工知能学会、IEEE

○ 参加費

民間参加費 ▶ 1名 33,190円(資料代・消費税込) 2人目以降 28,190円 (社内または関連会社で同時お申込みの場合)  
 行政参加費 ▶ 国家公務員・地方自治体職員の方は、1名 16,500円 (資料代・消費税込)

【参加申込方法】

- ① 申込用紙にご記入の上、FAX(添状不要)でお送りください。ホームページ・E-mailでのお申込みも受付けております。
- ② 折返し受講証、会場地図、請求書、振込依頼書、講師への質問用紙をご郵送いたします。(お申込み日から5日過ぎても届かない場合は、ご連絡ください。  
 開催間近のお申込みの場合は、取り急ぎ受講証、会場地図をFAXまたはE-mailでお送りし、請求書、振込依頼書は当日お渡しいたします。

【お支払い方法】

- ① 原則としてお送りした振込依頼書をご利用いただき、開催前日までにお振込みをお願いいたします。振込口座はセミナー毎に変わります。
- ② 取引銀行としてご登録の場合は、  
 三井住友銀行 本店営業部 当座預金 NO. 4254161 (株)日本計画研究所 (カブシキガイシャ ニホンケイカクケンキュウシヨ)  
 をお願いいたします。(お振込みの際、セミナー番号を入れていただければ幸いです。) ※ 振込手数料はご負担願います。
- ③ ATM等でお振込みの場合は、お名前の前に受講証の右下整理番号(9桁)を入れてください。
- ④ 当日、会場でのお支払いはご容赦ください。 ⑤ 「振込金受取書」にて領収証に代えさせていただきます。
- ⑥ お支払いは原則として開催前日までとなっておりますが、貴社のお支払いサイクルがございましたら、お振込予定日をご記入ください。  
 お振込予定日 ( 月 日 )

【セミナーのキャンセルとご欠席】

- ① お客様のご都合でキャンセルされる場合は必ず開催1週間前(2020年4月16日)17時までにFAX又はE-mailにてご連絡ください。  
 その後のキャンセルは、お受けいたしかねます。
- ② 万一、ご本人様をご欠席の場合は、1)代理の方のご参加、または2)当日配付の資料発送をもってご出席に代えさせていただきます、  
 ご参加費を全額申し受けさせていただきますので、ご了承ください。

【その他ご案内】

- ① 本セミナーは、ご参加者限定の特別セミナーのため、講義の録音、録画、撮影、パソコン、タブレット等電子機器のご使用は固くお断りいたします。
- ② 災害時緊急避難場所は、会場から徒歩5分「有栖川宮記念公園」です。

日本計画研究所

JAPAN PLANNING INSTITUTE  
 〒106-0047 東京都港区南麻布5-2-32 興和広尾ビル  
 URL <http://www.jpi.co.jp/> お問い合わせ E-mail [info@jpi.co.jp](mailto:info@jpi.co.jp)

ホームページ [www.jpi.co.jp](http://www.jpi.co.jp) からお申込みもできます  
 申込受付FAX 03-5793-9767  
 お問い合わせ☎ 03-5793-9765

2020年4月23日(木) 開催 第14998回  
 「インテル(株):CASEとMaaSを実現するデジタル技術の本質と  
 欧米中の現状を踏まえた対応策」

ホームページ【[www.jpi.co.jp](http://www.jpi.co.jp)】からお申込みは、  
 検索画面よりセミナー番号を **14998** 検索 選択 申込  
 入力してください。

(フリガナ) 申込記入欄 年 月 日

会社・  
 団体名

所在地 〒

電話 ( ) - FAX ( ) -

参加者氏名(フリガナ)	所属部署・役職名
	E-mail
	E-mail

■今後のセミナーやご優待情報を他に先駆けて送らせていただきますので、メールアドレスをご記入いただければ幸いです。

備考欄

■個人情報の取扱いについて  
 (必ずお読み下さい)

ご参加のお申込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、  
 個人情報のご提出をお願いします。また、お申込みをもってご同意いただいたものとみなします。<http://www.jpi.co.jp/info/privacy.shtml>  
 なお、サイトをご覧になることができない場合、または上記に関するご質問等がございましたら、以下までお問い合わせください。  
 【日本計画研究所 個人情報保護窓口 東京都港区南麻布5-2-32 興和広尾ビル 電話番号 03-5793-9761 info@jpi.co.jp】

編集・企画 企画開発部第二課

今回、当該セミナーにご参加されなくても、メールアドレスをご記入いただければ次回以降E-mailでご案内いたします。  
 メールアドレスのみご登録のかたは右記へ☑を入れてください。